

科目名	短期海外研修 A									年度	2024
英語科目名	Short term study abroad A									学期	通年
学科・学年	スポーツトレーナー科三年制	1 年次	必／選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習	
担当教員	杉浦		教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー			
【科目の目的】 アメリカのスポーツ文化に触れ、学び、スポーツ産業を担う人間として成長することを目的とします。また異国の文化や多人種との交流を通じて人間的に成長することも目的とします。											
【科目の概要】 アメリカの州立大学などにおいて人体解剖、テーピング、コンディショニングなどの実習を体験し、最新のトレーナー教育についての理解を深めます。											
【到達目標】 A. 専門力 B. 人間力 C. 異文化についての理解											
【授業の注意点】 現地コーディネーター、引率教員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないでください。貴重品の管理にはご注意ください。とくにパスポートの紛失がないようにしてください。たくさんの経験をする為に過密スケジュールとなります。各自、体調管理の徹底をお願いします。ホテルでの朝食をしっかりと摂りましょう。											
評価基準＝ルーブリック											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 もう少し						
到達目標 A	日々の学びと比較して、違いを深く理解し、積極的に研修に参加		積極的に研修に参加		自分なりのペースで研修に参加						
到達目標 B	語学含め事前学習をし積極性を持って研修に参加		研修に向けて事前学習をして臨み、現地で安全に楽しみながら過ごす		少しでも英会話をし、現地で安全に楽しみながら過ごす						
到達目標 C	しっかりと事前学習をし、日米の違いから、目指すべく目標を設定できる		しっかりと事前学習をし、日米の違いを理解できる		事前学習をし、日米の違いを理解できる						
【教科書】 なし											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】 平常点											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		短期海外研修 A				年度	2024
英語表記		Short term study abroad A				学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	研修の理解	1	海外渡航	パスポートの申請等渡航に関して	2	
			2	現地での過ごし方	現地での生活全般		
			3	テーマの理解	研修内容・研修中の生活		
2	大学施設視察	トレーナー教育環境の理解	1	施設見学	日米の違いについて	2	
			2	ATルーム			
			3	S&Cルーム			
3	大学施設視察	トレーナーの役割	1	キャリアについて	ATやS&Cとして職を得るまで	2	
			2	求められるスキル	必要なスキル・知識・資格		
			3	活躍のフィールド	職業として活躍できるフィールド		
4	献体解剖学	人体の構造	1	体幹	筋・骨・関節・神経・血管などを献体解剖学を通じて深く理解する	2	
5	献体解剖学	人体の構造	1	上肢	筋・骨・関節・神経・血管などを献体解剖学を通じて深く理解する	2	
6	献体解剖学	人体の構造	1	下肢	筋・骨・関節・神経・血管などを献体解剖学を通じて深く理解する	2	
7	S&C実技	パフォーマンスアップのためのS&C	1	W-UP	アクティブW-UP	2	
			2	主運動	パフォーマンスアップの実技		
			3	C-DOWN	C-DOWN実技		
8	スポーツクリニック視察	トレーナーの役割・働き	1	視察	スポーツ医療分野でトレーナーに求められる知識・スキル	2	
9	スポーツクリニック視察	アスレティックリハビリテーション	1	理論	アスレティックリハビリテーション理論	2	
			2	実技	ケア トレーニング		
10	ジム視察	日米の違いについて	1	視察	施設・設備・システムの理解	2	
11						2	
12						2	
13						2	
14	プロスポーツ観戦	スポーツの興行	1	観戦	スポーツ文化・興行について	2	
15						2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等